

# 9月定例会・決算議会



9月10日 博士トンネル開通

## CONTENTS

令和4年度の決算認定	2～4
一般会計補正予算	5
議員に聞いてみた	6～7
村政を問う	8～14
議会活動報告	15
行政調査報告	16

発行／昭和村議会

編集／議会だより編集委員会

〒968-0103

福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島652

☎0241-57-2198 FAX0241-57-3044

# 令和4年度の決算認定

今定例会では、令和4年度の一般会計をはじめとする全ての会計の決算内容と、事業の成果が提出され、審議の結果、賛成多数で認定されました。(決算の内容は「広報しょうわ10月号」に掲載されていますのでご覧ください。)

村の財政状況を示す「健全化判断比率」も報告されましたが、村は健全財政を継続していることが確認できました。

しかし、村は収入の多くを国からの地方交付税に依存していますが、その額は不透明さが大きく、今後財政状況はますます厳しくなっていくことが想定されます。さらに村税の滞納額が年々増加していることから、早急な対応の検討に取り組むことが望まれます。

昭 和 村 の 財 政 状 況	区 分	財政指数		簡 単 な 解 説
		令和4年度	令和3年度	
	財政力指数	0.10	0.10	地方交付税への依存の程度を示します。「1」に近いほど財政力が強いということです。昭和村は村税の収入が非常に少なく、 <u>財政力はとても弱い</u> といえます。
	経常収支比率	94.0	88.6	独自の施策や新たな施策に対応する余力があるかどうかという財政の弾力性を示します。75%程度が妥当といわれてきましたが、地方財政を取り巻く状況が変化中、どの自治体も高止まりしています。昭和村も <u>80%を超え引き続き高い水準にはある</u> といえます。
	実質公債費比率	6.7	6.0	収入金をどれだけ地方債(借金)の返済に充てたのかを示します。18%以上は警戒値。35%以上は破綻。昭和村は <u>現段階では良好な状態</u> であるといえます。
	将来負担比率	—	—	地方債(借金)の返済など将来負担しなければならない金額の割合を示すものです。現時点では <u>借金より基金(貯金)の額が多いため、指数は算定されませんでした</u> 。

## 令和4年度各種税金・使用料等未納累計額

(単位：万円)

住 民 税	固定資産税	国民健康保険税	後期高齢者医療保険料	介護保険料	公共下水道使用料	水道使用料
8	1,125	完 納	完 納	完 納	173	224

## 議案の採決結果

議 案 名	議決結果	菅家 篤男	羽染 豪	小林 政一	栗城 徳雄	馬場 政之	栗城 敏郎	馬場 栄三	渡部 節雄
令和4年度昭和村歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	×	○	議長

※「○」は賛成、「×」は反対、議長は議決に加わらないため「議長」と表記。





令和5年9月13日認定!

# 昭和村の「家計簿」チェック!!

## 令和4年度 一般会計決算

### 村の家計簿 -親からの仕送りがたより-

自分の収入(表中収入の○)は30万6千円で、生活に必要なお金(支出)が199万1千円(支出総額から表中支出△を除いた額)、親からの仕送り199万円(主に国からのお金)が頼りです。

歳入総額  
**24億1,733万円**  
歳出総額  
**22億6,482万円**

1000分の1にして  
家計簿に置き換えてみると・・・

収 入	
親からの仕送り 【地方交付税・国県支出金など】	199.0万円
○給与 【村税】	9.7万円
○パート収入 【負担金・使用料・手数料など】	2.2万円
○預金口座からの引き出し 【基金取崩収入】	10.7万円
○その他の収入 【寄附金・繰越金・雑収入】	8.0万円
金融機関からの借り入れ 【村債】	12.1万円
1年間の収入合計	241.7万円
預金残高は271万円	

支 出	
食費 【人件費】	35.7万円
光熱水費・日用品の購入 【物件費・補助費等】	77.8万円
養育費・医療費など 【扶助費】	7.3万円
車の修理代など 【維持補修費】	16.9万円
子どもへの仕送り 【他会計への繰出金】	22.7万円
貯金 【積立金】	1.1万円
家屋の増改築など 【投資的経費】	37.6万円
△生命保険 【投資・出資・貸付金】	0.1万円
△借金の返済 【公債費】	27.2万円
1年間の支出合計	226.4万円
借金残高は258万円	

※預金残高及び借金残高には、特別会計を含んでいます。

# 議員はココに注目した

正しく予算は使われたか  
どのような成果があったか

## 『令和4年度 決算質疑』

### 総務費

問 下中津川川向物置解体工事の跡地利用は。

答 現在は更地。川向倉庫の敷地として使われます。

### 民生費

問 会津若松地方広域市町村圏整備組合負担金は総務部門、消防部門、衛生部門に分かれており、合計すると7,600万円近くになり、昨年度と比較すると1,000万円程度多い。この金額は全額村負担か。

答 負担金の財源は、全て一般財源です。

### 農林水産費

問 高齢者生活福祉センター入居者負担金の内訳は。

答 すみれ荘居住棟の入居者の負担分で、

内訳は電気料金、電話料金、水道料金、共益費です。

問 保育所広域入所委託料と施設型給付費施設等利用費の違いは何か。財源は全額村か。

答 保育所広域入所委託料93万円は、保育所を広域で利用される方の委託料です。施設型給付費施設等利用費175万円は、幼稚園を村外で利用される方の経費となります。国2分の1、県4分の1、村負担は4分の1の内訳となっています。

問 保育所管理栄養士委託料の委託先は。

答 県外業者に委託。献立作成や食育業務を委託しています。

### 土木費

問 保育所備品の空気清浄機とICT対応タブレットで100万円ほどになる。内訳は。

答 空気清浄機5台、ICTタブレット1台、掃除機2台、お出かけ用ワゴン1台、ウェブ会議用スピーカーマイク一式です。

問 昭和三十九年度から昭和四十二年間の原麻を奥会津昭和村振興公社へ売り渡した。収入とは。

答 昭和三十九年度から昭和四十二年間の原麻を奥会津昭和村振興公社へ売り渡した。収入とは。

問 昭和三十九年度から昭和四十二年間の原麻を奥会津昭和村振興公社へ売り渡した。収入とは。

答 昭和三十九年度から昭和四十二年間の原麻を奥会津昭和村振興公社へ売り渡した。収入とは。

問 「あめのパッケージ」と「ようかんのパッケージ」で商品化に結びつき好評を得ています。

問 農業次世代人材投資事業補助金1,214万円の内容は。

答 カスミソウ新規就農者に対し、経営を開始された方々の生活費相当に充てる補助金です。

### 商工費

問 村観光協会補助金913万8千円、昨年度より239万円増えた要因は何か。

答 人件費の増加です。

問 移住促進冬季動画制作業務委託料の対象者と活用方法は。

答 冬期間の生活を主に移住者に向けてPRするユーチューブ動画の作成です。5本の動画を作成し再生回数が約9万回です。目的は、移住に向けて村をPRすること、新規就農者にも動画を見ていただいて、昭和村に関心を持っていただく内容です。

問 除雪事務効率化業務委託料の業務内容は。

答 除雪車両GPSから自動でデジタル電子日報を生成するものです。

### 教育費

問 高所作業借上料の目的は。

答 公民館後ろにマイマイガが卵を大量に産み付けたので、高所作業車を借上げ卵の駆除を行った。

問 令和3年度繰越金より令和4年度繰越金が相当増え、不用額もかなり多いのは何故か。

答 国民健康保険特別会計(国保診療所)及び介護保険特別会計

問 国保診療所分は新型コロナウイルスワクチン接種料収入が500万円ほど増えた。不用額は医療に係る経費で3月末までは見込むことが難しかった。介護保険特別会計分は介護給付費確定が5月末で年度によって変動する。今後、不用額が多額にならないよう精査していきたい。

# 一般会計補正予算 (第6号)

(千円未満切捨て)

9月  
定例会

## 公共インフラWi-Fi ネットワーク整備事業 **5,013万円**

停電等電源異常が発生した際に電源を供給する機器、屋外用カメラ、高齢者世帯配布タブレットの導入

**問** アメリカ宇宙開発のスペースXとKDDIが、衛星通信とスマートフォンを直接つなぐサービスを来年度から始めると発表したが、計画中の公共インフラWi-Fiと比較検討したのか。

**答** スペースX社の新サービスは、個人向けであっても、電波を受信するアンテナが必要。現段階では補助事業には該当しないため、居住エリアへのWi-Fi通信が現在考え得る最良の方策。

**問** 高齢者世帯用タブレットの配布希望調査は実施したのか。

**答** 高齢者へのアンケートは行っておりません。公共インフラWi-Fiと一緒に進めている防災行政無線連携機能によりスマートフォン、タブレット、戸別受信機に村の情報を伝えるので、希望機種を選んでもらい配付したい。

9月11日から13日まで条例改正、一般会計補正予算、特別会計補正予算、令和4年度決算審査の審議が慎重に行なわれました。

## 博士峠パイパス供用開始記念 観光キャンペーン事業

村内の宿泊施設に観光  
目的で宿泊すると **823万円**

- ・宿泊料金が1人1泊につき**3,000円**割引
- ・村内お買物券を1人1泊につき**1000円分**プレゼント

※先着2,000泊限定

## 教員宿舎 解体工事 **3,000万円**



3棟解体 (小中津川字石仏地内)

## 福島県青果物価格 安定制度負担金 **340万円**

市場に出荷した青果物の平均販売価格が著しく低下した時に補給金を交付するための積立資金 (本村はカスミソウが対象)

## 福島県物価高騰対応生活 困窮世帯緊急助成事業 **126万円**

令和五年度の村民税非課税世帯のうち、高齢者世帯、障害者世帯、ひとり親世帯に1世帯当たり**6,000円**交付

# 議員に聞いてみた

## 一般質問 ～裏側に迫る～

村政の課題や将来の展望について質す一般質問。

令和5年9月議会では、全議員（7人）が質問をしました。

「昭和を良くしたい！」各議員の熱い思いを、ご一読ください。

また、村民の方からのご意見「議員の皆様が、なぜ、この内容の一般質問をしたのか。分かるとういいな」を踏まえて「一般質問をするに至った背景やきっかけ」を議員に聞いてみました。

議 員	問 一般質問のきっかけはなんですか？
馬 場 栄 三 8 ページ	<p><b>1. 芋引き場の作業環境改善について</b> 7月下旬頃から8月上旬にかけて、約20名の方が朝8時から夕方まで野尻体育館で芋引き作業をしている。又、振興公社2階では、からむしの糸作りをしている。 今年は連日危険な程の猛暑が続いたことから何らかの作業場の環境改善が必要と考える。</p> <p><b>2. 国道401号大芦工区新鳥居峠工事状況について</b> 村民の祈願であった国道401号博士トンネル工区の工事が完了し9月10日開通の運びとなった。大芦工区工事中であるが中断している感がある。大芦から新鳥居峠工区についても工事計画について住民説明がないように考える。新鳥居峠も復興予算で行うと伺うが。</p>
小 林 政 一 9 ページ	<p>①村の中を歩くと屋根が崩落したり、合掌の屋根の骨組みが剥き出しであったりする。 かつての村民なら、こういう風景を見て舌打ちをして嘆いたであろう。田や畑、山林は、かつては財産として価値があったが今はどうであろうか。始末という言葉があるが、人の命も人の暮らしも大切に扱いたいものだ。</p> <p>②人はずっと食物によって生きてきた。 食物を生産する農業は自給自足生活の根本である。自給的農業は昭和村における暮らしの文化であり、大切な宝であり、農地が耕作放棄地化しない対応を取るのが望ましい。</p>
栗 城 徳 雄 10ページ	<p>「村職員の綱紀と財政について」は、村職員が突然に移動されたり退職されたりで村民の間に不信感が募っている。その原因を多くの村民が知っているようであり、地方公務員法に違反したのではないのかという声があることからの質問です。</p> <p>「敬老会のあり方について」は、今年は全員への記念品が無く、「年寄りを敬う気持ちが無い」などと囁かれていることからの質問です。</p> <p>「博士峠バイパス開通に伴う交流人口への対応について」は、幾度となく質問しているが明確な答弁が得られていない。村を素通りさせるのではなく足を止めて頂くために何をするのか。会津盆地方面への足の確保などは対応をどうするのかを問うものです。</p>



# 一般質問 ～裏側に迫る～

議 員	問 一般質問のきっかけはなんですか？
<p>羽 染 豪 11ページ</p>	<p>議員になって初めて議会で一般質問をさせていただきました。私も含め、村民の皆様も昭和村で生活していく上で将来への不安が多々あると思います。その不安要素の一つひとつ解決していくために私は村民の皆様と共に行動していきたいと思っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 村民の声を代弁すること</li> <li>2. 行政と共に問題を解決すること。</li> </ol> <p>行政には村民の声を真摯に受け止めていただくことも必要となります。以上を私の一般質問の基本方針としていきます。</p>
<p>馬 場 政 之 12ページ</p>	<p><b>質問1</b> トンネル開通後の観光体制は充実した村活性化を求めため、また持続可能な村の創造のため重要なものと認識し、策定された計画を開示し、村民と共に力を合わせた村づくりの重要性を問いたかった。</p> <p><b>質問2</b> 昭和福社会（昭和ホーム）は、村民にとって重要な介護施設です。職員不足や物価の値上がり、新築等の要因で運営の難しさがあり、村としては福社会と協議を重ね、連携した福祉行政が必要ではないかと求めた。</p> <p><b>質問3</b> 行政（村）の会計制度は、現金が動いて帳簿に記載するものですが、現在は発生主義の会計制度が入り、物が動けば記帳される2つの制度で実務されています。企業会計は現金主義で現れない処も財務諸表に反映されますので、次年度の財務計画にも役立ちます。早期に財務諸表を作成する必要性があります。</p>
<p>菅 家 篤 男 13ページ</p>	<p>昭和ホームが運営面で容易でない厳しい状況です。私たちはこれから介護が必要となった時に、村内にある昭和ホームを安心して利用していけるよう望んでいます。</p> <p>平成21年の村民アンケートでは多くの人が昭和ホームの増床を希望されていました。あれから14年経過しました。今のホームはなぜ財政面で村の支援が必要となったのか。ホームの現在はどんな実状なのか。昭和ホームは、これから先どう進んでいくべきかと、多くの資料を読みながら考えてみました。</p> <p>財政面の村からの支援は、どうしても必要なことだと思いました。</p>
<p>栗 城 敏 郎 14ページ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>多様な交通手段の構築について</b> 現在、村には2つの公共交通がありますが、更に低コストで効率よく村内を移動する交通手段が必要と考えておりました。この度、国の支援が採択されましたので、具体的な事業内容を質しました。</li> <li>• <b>村外の医療機関への通院支援について</b> 村外の医療機関へ通院されている方が多く、特に交通弱者には大きな負担となっており、通院支援は必須と考え以前から提案をしていましたが、博士峠が通年運行となり、村外医療機関への試験運行を実施し、課題の解決を図り具体的に取り組むべきと考え、質しました。</li> </ul>

# 村政を問う

令和5年9月定例会 一般質問



馬場 栄三 議員

Q 芋引き場の作業環境改善について

問 現状の芋引き作業環境について、短期間とはいえ、関係者、業者から改善要望はないのか伺う。

村長 野尻体育館において昭和村からむし生産技術保存協会が、からむし引きを実施しているが令和3年度に、現場からも直射日光が入るため、上の窓に遮光幕を張って日差しを弱めてほしいとの要望があったため、令和4年度には遮光幕を購入

し設置をしたが、その後、現場や関係者からの要望はない。

問 芋引き作業場へエアコンの設置又は他施設での実施も検討すべきと考える。また公社二階での糸づくりの室内作業場にもエアコン設置が必要と考えるが。

村長 昭和村からむし生産技術保存協会事務局に意見を伺ったところ、からむしに風が当たると、繊維がねじれてしまい、品質の低下を招くことから、設置は望ましくないとのことと、体育館全体の室温を風を使わない方法で下げる事ができないか検討してほしいと意見をいただいた。また、他の施設の利便については、関係各位と検討して参りたい。



芋引き作業（野尻体育館）

公社2階のエアコン設置は、令和2年度に事務室に設置する予算を計上する際に、現場で機織りをしている方々に意見を伺い、乾燥により糸が切れやすくなることから、自然の風を入れる方法が一番望ましいとの意見をいただいたため、設置を見送った。しかし、今年度は連日の猛暑が続いたことから、次年度に向け公社との協議を進めたい。

Q 国道401号大芦工区新鳥居峠工事状況について

問 大芦工区、現在の進捗率と完成年度について伺う。又、大芦集落内、道路予定計画は示されているか伺う。

村長 県会津若松建設事務所からは、現在、全体延長約1・1kmの内、約0・5km区間の工事に着手し完成年度は未定で、集落内の工区は、工区の一部に軟弱地盤があり、対策工を検討中と伺っている。また、用地取得困難箇所は、引き続き用地取得に向け努めていると回答をいただいた。

問 地区住民の理解が必要と考える。住民へ

の説明理解されているか伺う。

村長 県会津若松建設事務所では、地元住民の方々に対し、平成25年度と平成27年度に説明会を実施し、令和4年度に道路施工状況の資料配付を行っている。令和5年度も道路施工状況の資料配付を行う予定で地元住民の理解が得られるよう、丁寧に説明をして参りたいと報告を受けている。



急カーブ、狭隘な新鳥居峠



# 村政を問う

令和5年9月定例会 一般質問



小林 政一 議員

Q 空き家と廃事務所について

問 廃事務所はどれほどあるのか。その対応は？権利者との更地交渉を伺う。

村長 使用されていない事務所の数は、調査を実施してないため把握してない。使用されていない事務所は建築物の所有者、管理者又は占有者が、その建築物を常時適法な状態に維持保全する義務を負う。更地についても登記名義人が法人であれば法人が行うものと考えている。

問 本村には寄棟の古い景観が残っているが、今後、空き家になったらどんな風にするべきか。例えば、解体して小さな住宅を建て、外国を含め解体、移築する。素材の再利用は村長の選択肢にあるか？

村長 空き家の管理や素材の再利用などは、個人の財産であり、行政が介入するには判断が難しい立場にある。提案内容は、本村の空き家バンクの活用状況と合わせて、先進事例を参考に検討が必要と考えている。

問 行政が動かないと建物は100年経っても残る。適正な方向に持っていく考えはあるのか。イエスかノーで答えてください。

村長 個人分は特定空家に認定し取壊しに着手している。「日本で最も美しい村」連合に加盟をしているので、法人が管理する立場であれば、法的な面も含めて検討し進めていきたい。



先人が守ってきた村の暮らしを大切にしよう

Q 農業について

問 グリーンファームの人員不足が心配。来年の作付も不透明との声もあるが大丈夫か？

村長 人員不足は、今年度4月の採用で確保

され、田植えの時期までは充足されていたと伺っていたが、離職した社員がおり、水田周辺の草刈作業の負担が大きく、特に、大型コンバインや除雪ドーザーのオペレーター確保が大変厳しいと伺っている。

村では奥会津地域づくり協働組合の利用推進や、新規就農者へ冬期間の就労の場を紹介するなど、協力していきたい。なお、作付面



本村水田の約6割を支える農業生産法人有限会社グリーンファーム

積は、今年度と同様の面積を維持すると伺っている。

問 小さな農業でも法人組織でも肥料等の値上げで大変だ。耕作放棄地を増大させないため対応すべきと思うが？

村長 肥料価格は、原料価格が落ち着き、今年の秋肥の卸売価格が、基準銘柄の高度化成肥料で前期比で28%下落する見込み。また、新たな対策として、化学肥料の2割削減に取り組む地域に対し、1地域当たり500万円を上限に、かかり増し経費の半額を支援する仕組みを導入すると発表された。JAを通して交付する方針で農家と情報を共有していきたい。

# 村政を問う

令和5年9月定例会 一般質問



栗城 徳雄 議員

Q 村職員の綱紀と  
財政について

問 村長が着任されてから、現在まで開かれた懲罰に係る委員会の開催状況について伺う。

村長 平成30年4月29日以降に開いた懲戒審査会の開催状況は、平成30年8月に1件、令和2年6月に1件、令和2年11月に1件、令和4年10月に1件、令和5年1月に1件で、その中には、文書の不適切な処理が1件含まれる。

問 地方公務員法第33条の規定違反による処分はないのか。この規定は、勤務時間内・時間外を問わず、その職の信用を失墜させる行為を行った場合に処分される。この規定に該当する事案がないのか伺う。

村長 信用失墜行為は、村役場の信用を傷つけ又は職員全体の名誉となる行為が該当しますが、飲酒運転のほか、一定以上の速度超過や事務処理ミス、職務怠慢など幅広い事案が該当するため懲戒案件のすべては、地方公務員法第33条に違反する。

問 噂が流れているが、信用を傷つける行為があれば調査する義務があるのでは？

副村長 事実であるか調査させて頂く。

Q 昨年は敬老の日プレゼントとして対象者全員に3千円分の商品券が配られました。今年これが無くなり、村民の間で「村には年寄りを敬う気持ちが無い」などと囁かれています。年々お年寄りが冷たい扱いをされているように思えてなりません。本年度、当初予算説明では、昨年と変わったことの説明がありません。なぜ説明しなかったのか？村長は、なぜ、記念品を配らない判断をされたのか伺う。

村長 令和3～4年度に「敬老の日プレゼント」として、敬老会招待者にお配りした商品券は、新型コロナウイルス

ルス感染症の影響に伴い、敬老会を中止とした代替事業として実施した。今年度は、敬老会を開催する方向で、対象者全員への記念品の配布ではなく招待状をお送りした。70歳、75歳になられた方々には、今まで同様に記念品、敬老祝金をお配りする。

Q 博士峠バイパス開通にもなう交流人口への対応について、村がやるべき事として、どのような事を考えているのか？

村長 本定例会に補正予算を計上した。その内容は①紅葉シーズンに向けて、改修工事が

完了した、水芭蕉としらかばの杜に仮設トイレを設置し、人感センサーを用いて利用の実態を検証する。②秋のイベント「昭和時代のはたらく車大集合」と題し、11月5日の喰丸小マルシェに併せた企画を計画③長期的な観光キャンペーン事業として、村内宿泊施設に観光目的で宿泊した方に、1人当たり3,000円の割引を行い、差額を宿泊施設に助成。更に、この事業で宿泊した方に、1人当たり1,000円の村内事業所で使用できるお買い物券を発行し、村内での消費喚起を促し、地域経済の活性化を図りたい。



人感センサーを用いた仮設トイレ

# 村政を問う

令和5年9月定例会 一般質問



羽染 豪 議員

**Q** 令和4年度までの除雪リモート事業の内容説明と令和5年度以降の事業計画を問う。

**問** 令和4年度までの事業内容は？

**産業建設課長** 令和3年度から総務省の過疎地域持続的発展支援交付金活用事業で取組み遠隔操作側で、除雪車両に取り付けたカメラから送られてくる映像を元に、除雪作業を行うもので、除雪車両に見立てたハンドル、レバーを操作すると、その制御信号に基づき、

除雪車両側でも即座に同様の動きが行われる仕組みです。また、積雪センサーにより自動で一定の積雪量に達した際に作業員へメールで通知を行う内容である。

**問** 令和5年度以降の事業計画は？

**村長** 最終的な目標は、自動走行型の無人除雪



除雪車遠隔操作実証実験（役場事務室内で操作）

車を目指すが人家付近や道路幅員が狭い路線での実証には至っていないため、安全面等の確認を行う必要があり、関係機関や受託企業と協議を重ね実証に取り組みたい。

**Q** 保育体制について問う。

**問** 保育所プールが使われなくなった経過は？

**保健福祉課長** 水質などの衛生管理、温度管理、安全対策上の対応で、近年、3歳未満児童の受入れが増えたため、人員体制上その管理等が困難になってきた。また、既存プールも数十年が経過し経年劣化による水漏れや濾過装置も修理を重ねながら対応してきたが、4歳児、5歳児の年中、年長組の児童は、



保護者の声、ちゃんと届いていますか？

幼児教育の場として充実した保育政策を！

小学校プール施設の利用や川遊びを実施した。1歳から3歳児は、排泄が自立していない児童も多いため水遊びを行ったところである。

**問** 提案したい。保育園留学の受入れ、山梨県丹波山村を参考に、専任所長の公募、ゼロ歳から15歳までの一貫教育の実施、さらに保

護者が本当に満足して通所させているのか、村長、立会いの下、保護者会総会の開催、保育所への要望や要件についてアンケートの実施、第三者に相談する機会の創設はどうか？

**村長** 保護者の生の声を聞き、今後の保育所の在り方を考えたいので、今年度から機会があれば保護者会に出席したい。



# 村政を問う

令和5年9月定例会 一般質問



馬場 政之 議員

**Q** トンネル開通後の観光開発に向けて、効果的な施策とするには、村民の方々の協力は欠くことのできないものであると考える。具体的に観光戦略を開示していただきたい。

**村長** 令和2年3月に、村内で観光に携わる昭和村観光協会、奥会津昭和村振興公社と観光交流係の三者による、昭和村観光ビジョン策定会議に於いて、昭和村観光ビジョンを作成した。しかし新型

コロナウイルス感染症の観光面への影響は大きかったため、人々の観光や旅行に対する考え方も変化し、昭和村観光ビジョンの見直しを図る必要性が求められている。

令和2年3月策定の昭和村観光ビジョン



**Q** 昭和福祉会福祉計画について

**問** 昭和福祉会に運営状況を確認され、施設

運営の見通しが非常に厳しい状況と村長が承知されたのは何時？

**村長** 昭和ホーム運営状況は、令和2年1月に施設側の要望を受け、借入金の償還等の課題により、将来の運営が大変厳しくなると伺っていた。

**問** 「今後の運営については、昭和福祉会との緊密な連携を図り協議を十分に重ね、方向性を見極め、存続に必要な対応や支援策を検討したい。」と答弁している。村民も心配している。協議の進み具合について伺う。

**村長** 昭和ホームの運

営について、保健福祉

課において昭和福祉会

と協議を進めている。

これまでに、人材の確保

に向けて、首都圏で開

催される県主催の移住

相談会に企画するとと

もに、村ホームページ

を活用した募集を行いた

い。また、経営に対する

支援として、直近

の原油価格・物価高騰

の影響による光熱費の

負担増に対応するため、

村単独の補助事業を創

設したところである。

**Q** 本村でも人口減少が進む中、老朽インフラの大規模改修なども重なって、持続可能な自治体運営に向けて、新公会計制度の活用を促したい。令和4年度の決算は、何時頃示されるのか問う。

**村長** 令和4年度決算の統一的な基準による財務書類は、令和6年3月末頃には完成する見込み。公表の時期は、財務書類の成果品が納入され次第に村のホームページに掲載する計画である。



昭和ホーム多床室

# 村政を問う

令和5年9月定例会 一般質問



菅家 篤男 議員

Q 昭和ホームの現状と課題、ホームのこれからについて

【問】 昭和ホーム増床について、議会議事録を調べて分かったことは、増床は昭和福祉会が独立する7年前から検討されてきた。村の主体事業として検討されて、第5次振興計画に反映され、増床へと進んでいきました。さらに平成27年度に独立行政法人福祉医療機構より、昭和ホームの土地建物に抵当権を設定し、建

設資金2億円を借入れ、現在は運転資金が不足する寸前。早い時期に、遅くとも令和6年度には財政面で借入金返済を全面支援すべきと考える。

【村長】 昭和ホームの増床は、村民の意向を踏まえ、村の政策として

昭和福祉会と合意形成を図り、進められた事業で、資金計画も同様に、双方の合意の下で承認されたので、借入金返済は、施設側での対応が基本ですが昭和福祉会との協議を重ね、存続に必要な対応や支援策を検討したい。

【問】 令和2年1月に昭和福祉会として本館設備関係補助金の要望書

を提出した。現在の考えを伺う。

【村長】 これまでも大規模な修繕への対応や支援を行ってきた。今後必要となる修繕や設備の改修は昭和福祉会との協議により、優先順位や負担割合について検討したい。

【問】 令和2年1月に第6次昭和村振興計画に老人福祉施設の規模縮小や運営の新計画を組み入れるよう要望したことについて伺う。

【村長】 ホームの施設規模や計画は、村介護保険計画に位置付けし、保健福祉審議会において議論している。今後、昭和福祉会との協議を経た上で、村の支援事

項は、村振興計画の年次計画に組み入れ、審議会に諮ってまいりたい。

【問】 ①多床室本館は修繕しながら利用できるようにすべき。②ユニット館は最大利用できるように職員配置を検討すべき。③職員採用は高賃金で雇用すべき。④『昭和ホームは、危機的状況だ』の風評が広がらないように万全を期すべき。昭和ホ

ームのこれからについて村長の考えを伺う。

【村長】 昭和ホームは、村の高齢者施設として非常に重要な役割を持っている。高齢者が安心して暮らせる村づくりのためにも、施設の存続が不可欠であると認識しているで、職員体制、施設管理、施設維持など、昭和ホームの健全な経営に向けて必要となる対応や支援策について、引き続き昭和福祉会との協議を重ね、一体となって考えてまいりたい。



昭和ホーム本館食堂



ユニット館パブリックスペース

# 村政を問う

令和5年9月定例会 一般質問



栗城 敏郎 議員

## Q 多様な交通手段の構築について

問 AIによるオンデマンド型移動サービスに至った経緯を示せ。

村長 先進地の事例調査として、NTTドコモが日産自動車と実証実験を行ったAIバスやAIタクシーについて、事業内容の説明と提案を受けた。また、県内で取組まれている定額タクシーやAIルート自動選定デマンドバス、スマートモビリティを活用した巡回バスについての、情報収集を行い、具体的な説明を戴き、先進地事例

調査等で得た情報を参考に、本村の地理的条件や気象条件等も勘案し、検討を重ねた結果、AIオンデマンド型移動サービスの選択に至った。本年度は、電話

で予約を受け付け、あらかじめ各地区に指定する停留場を予約状況に応じてAIが効率的な運行ルートを選択し、最短経路で結ぶ方式を進めている。令和6年度は、運行ルートや停留所の指定は行わずに予約状況に応じて村内

を巡回する方式を検討している。

問 AIバス導入による財政試算を示せ。

村長 事業費総額で約4千9百万円で、公募型プロポーザル方式の導入により約7百万円の経費節減が図られた。また、この事業は国のデジタル田園都市国家構想推進交付金、補助率10、10が採択され、基本的に村の持ち出しはない。



11月1日から村内を巡回する「からむんバス」

## Q 村外医療機関（医療送迎バス）の通院支援について

問 村外の医療機関への通院支援について、現在想定している考えを示せ。

村長 国道401号博士峠バイパスの供用が開始され、冬期間も通行が可能となり、交通の利便性が大きく向上した。これまでも2つの医療機関に運行を頂いているが、会津若松市方面の医療機関を利用する方も多く、大きな負担となっていることから、今後、会津若松市方面の医療機関への運行について協議を進めたい。

問 試験運行等、いつ頃と考えているのか示せ。

村長 試験運行の実施

など路線バス事業者と打合せを行っているが、現在、路線バス事業者は人員の確保や車両の確保・配置が困難なことから、路線数を減らすなど、会社経営として優先順位を付して営業を行っている厳しい現状の説明を受けている。会津若松市方面への試験運行は、早期の実施が見通せない厳しい状況で、緊急的な対応が必要と判断し、医療機関に対し送迎バスの運行を実施していただくよう要請している。また、現在もバス事業者との打合せを継続して行いながら課題解決に向けた検討を鋭意に行っており、会津若松方面への交通手段の確保は、高齢者の不安解消や住民生活、教育環境の向上など、重要な施策の一つとして認識しており、課題の解消が図られるよう努力していきたい。



# 議会活動を報告します

## 視 察 来 村



### 西会津町議会 移住・定住施策事業などを研修

10月13日、西会津町から議会経済常任委員会の委員長含む6名と町職員3名が、本村の移住定住施策について研修にいられた。からむし織姫体験生制度・カスミソウ新規就農者支援制度の移住定住施策や令和5年度から新たに始まった村が空き家を10年間借上げ、改修後、村営の賃貸住宅として転貸する昭和村移住定住空き家活用事業などを説明した後、西会津町議会議員の方々と昭和村議会産業建設常任委員会委員でお互いが抱える課題について情報交換ができ、大変貴重な機会となった。



### 草加ふささら祭りに参加

10月22日、新型コロナウイルス感染拡大の影響で4年振りに開催された姉妹都市、草加ふささら祭りに参加し、山川百合子市長、小川利八議会議長、山本好一郎教育長と意見交換を行いました。



交流会

パレード参加



## 監 査 委 員 報 告

10月17日～19日の3日間、令和5年度の定期監査を行いました。

### ※監査委員

渡部昭一代表監査委員  
(識見を有する者)と馬場政之監査委員(議会から選任された者)

### ※定期監査とは？

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、毎会計年度1回以上期日を定めて監査を行うこと。



購入した心土破碎機の現地調査

※3本の爪状機械で深さ40cm～50cm程度の位置の土壌構造を緩め人為的に空隙を作る農業用機械で農地の排水性を向上させる。営農生産組合などに貸出予定。

からむし織姫体験生制度・カスミソウ新規就農者支援制度の移住定住施策について情報交換ができ、大変貴重な機会となった。



# 10月21日常任委員会行政調査報告

道の駅ランキング全国  
1位 川場田園プラザ

人口約3, 100人の群馬県利根郡川場村に観光地から離れた山間部にありながら年間来場者数は約250万人。そのうち7割はここにしかないオリジナル商品を求め首都圏からやってくるリピーター。さらにその中の5割は年に4回以上のコアなりピーター。道の駅を目的の地化することに成功した。



しかし、ここに至るまでの道のりは決して平坦ではなく、川場村の第三セクターとしてオープンしたが2007年に赤字に転落。2008年に川場村長は村内酒造会社に再建を託し、民間主導の改革に着手。全スタッフのデイズニーランド視察など従業員の意識改革、接客スキル向上、コスト意識を浸透させ経営は見事に回復。ファーマーズマーケットには地元農家450名が登録

し、売れ筋商品の分析情報を農家と共有し効率的な生産・供給体制を構築し、若者を中心に就業機会の提供、生活利便施設の少ない川場村の住民が買物や飲食をする都市機能も担うなど地域にも貢献。姉妹都市の川場村と東京都世田谷区が共同出資設立した「株式会社世田谷川場ふるさと公社」は道の駅でレストラン経営を担い、村内に他2つの施設を運営。世田谷区の小学生の受け入れ交流事業の中心的役割を担っている。また、川場村の野菜や地酒の世田谷区での販売促進が実現している。

今後は海外にも需要が増えている地元乳製品を増強をはじめ、3年先までの事業計画を練り、お客さんを飽きさせない挑戦を続けている。

## ● 令和5年第4回定例会のお知らせ ●

12月8日から12日までの日程で予定されています。

一般質問は11日の予定です。

お誘い合わせのうえ、ぜひ傍聴においでください。



## 編集後記

村民悲願の博士トネルがついに開通し、昭和村にとって忘れられない歴史的な年となりました。「からむし織体験生事業」が30周年を迎え、記念シンポジウムの特別講演に杉子女王殿下をお迎えし、「皇室文化と伝統技術の継承」と題して、ご講演をいただきました。杉子女王殿下におかれは、「からむし」に関心を持たれ2014にも来村されており、「からむし」の継承にご尽力を戴いております。爽りの秋、収穫期を迎えましたが、長雨により稲は倒れ圃場は泥濘となり、稲刈りに支障をきたしており、天候の回復を待つしかできない状況で心配の限りです。寒くなりましたので、くれぐれもお体にご自愛ください。(栗城敏郎)

## 編集委員

委員長 羽染 豪  
副委員長 菅家 篤男  
委員 栗城 敏郎  
馬場 政之